



# 国際協力

2024.10  
秋号  
No.81  
JICA駒ヶ根

## 2024年度2次隊183名、ただいま訓練真っ最中!



8月20日、2024年度2次隊の訓練生183名全員が無事に入所し、翌21日の入所式では、6月までグローバルプログラムで駒ヶ根市をフィールドに活動されていた岩崎加奈さん(ボリビア/保健師)が訓練生代表として宣誓を行いました。

入所から約1ヶ月、訓練真っ最中の岩崎さんに訓練の様子を伺いました。

**Q: 訓練の70%を占める語学学習ですが、クラスの雰囲気はいかがですか?**

**A:** 本物のスペイン語を聞いて、やっと少しずつ分かるようになってきたという実感(錯覚?)があります。分からない所は訓練生同士で教え合ったり、それでも分からなければ隣のクラスに聞きに行ったりして、難しいけど楽しいです。

**Q: 訓練中の楽しみはありますか?**

**A:** 一日の授業が終わった後に、アイスを食べながら友だちとおしゃべりしたり、土日にスポーツをして思いっきり体を動かしたりすることが楽しいです。グローバルの時に世話になった方も繋がっていて、たまに遊びに行ったりして近況報告をしながら元気をもらっています。

▶インタビュー中も終始笑顔で応じてくださった岩崎さん、「訓練所の中だけでも世界は広い!!」という言葉が印象的でした。がんばれ、訓練生!!



生活班の皆さんと!

2024年度  
2次隊(8名)

## 長野県出身JICA海外協力隊員 その1

行ってきます!! ✈



まえじま れみ  
前島 玲美  
〈長野市出身〉

派遣国/グアテマラ

職種/コミュニティ開発

▶珈琲豆で有名な中米グアテマラの第2の都市シェラで、地域のブランディング強化、起業家のマーケティング支援を行います。異なる環境や価値観、現地の人々とのコミュニケーションを堪能しながら、“共に”素敵な未来を築いていきます!

グアテマラ



エルサルバドル

エクアドル



やまざき かんたろう  
山崎 幹太郎  
〈佐久市出身〉

派遣国/エクアドル

職種/レスリング

▶エクアドル、モロナ・サンティアゴ県のスポーツ連盟に所属するコーチ、選手にレスリングの指導を行います。頑張っってスペイン語を覚え、任地における競技レベルの向上、普及に貢献できるよう精一杯努力していきたいと思っています。



あぜがみ なつみ  
畔上 夏美  
〈長野市出身〉

派遣国/エルサルバドル  
職種/作業療法士

▶障害者家族が相互支援を目的に発足した『ロス・アンヘリトス障害児童父母の会』に行き、訪問治療や教育支援等を行います。子どもたちが少しでもハッピーになる事を目指して頑張ります。

2024年度  
2次隊(8名)

# 長野県出身JICA海外協力隊員 **その2**

行ってきます!! ✈



くろいわ みすき  
**黒岩 瑞稀**  
〈須坂市出身〉

派遣国/モザンビーク  
職種/青少年活動  
▶モザンビーク、マトラ市の教会に付属するコミュニティスクールで、音楽や芸術を中心として子どもたちの創造性を育むことを目指し活動を行います。日々、明るく前向きに子どもたちと現地スタッフと一緒に精一杯頑張ってきます!



もり まさと  
**森 政人**  
〈長野市出身〉

派遣国/ケニア  
職種/コミュニティ開発  
▶ケニア西部、ケリチョ郡キプケリオンにある農業事務所に派遣される予定で、主に農業関係の支援をします。農業の魅力や楽しさを伝え、現地の方々が農業を通してより豊かな生活を送れるよう、精一杯頑張ります!



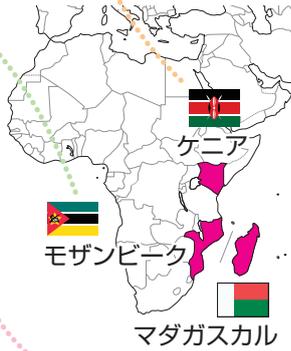
たかの けいすけ  
**高野 佳祐**  
〈飯綱町出身〉

派遣国/ミクロネシア連邦  
職種/テニス  
▶ミクロネシア連邦の中にある、ポンペイという島の『ポンペイテニスクラブ』にて、現地の選手育成やコーチ陣へのサポートなどを行います。人生最大の挑戦です。フレッシュさを忘れず、挑戦することを大切にしながらテニスの普及に貢献していきます。

派遣国/マダガスカル  
職種/コミュニティ開発  
▶マダガスカルの栄養局に勤めます。現地の方々が、栄養や衛生に関して自発的に生活改善を行いたくなるような環境づくりに貢献したいです。また、現地の活動チームと協力し合い、自分も楽しみながら行いたいと思います。



なかむら ももか  
**中村 百花**  
〈飯綱町出身〉



やなぎさわ ふみこ  
**柳澤ふみ子**  
〈松本市出身〉

派遣国/東ティモール  
職種/小学校教育  
▶アジアで一番若い国、東ティモールにある小学校で、算数の授業と指導内容の検討を行います。現地の子どもたちや先生と協働し、算数能力向上に向けて、活動します。明るく積極的に、感謝を忘れず、活動を頑張ります!



## 駒ヶ根訓練所 **45**周年 **スタッフインタビュー**

フランス語講師として22年お勤めのサンバ先生にお話を伺いました。



アンセルム  
**Anselme**  
サンバ  
**Samba 先生**  
(コンゴ共和国 出身)

**Q:仕事のやりがいを教えてください。**

**A:**ある時、クラスの生徒が僕に告白したいことがあると言ってきました。内容は「私はこれまでアフリカに対して偏見を持っていたけれど、サンバ先生に出会って、このクラスでフランス語やコンゴという国について学ぶうちに、知らない国に対して偏見を持つべきではないと思うようになった。本当に人生が変わりました。」というものでした。フランス語を教える仕事を通じて、他人の価値観にまで影響を与えることができたと嬉しく、仕事のやりがいを実感した瞬間でした。コンゴ代表としてアフリカ人の代表として、より良い人間になろうと思いました。

**Q:思い出に残っているエピソードはありますか?**

**A:**以前、元JICA理事長の緒方貞子さんが来所された時、全職員が食堂に集まりお話を伺う機会がありました。その時、緒方さんは一番後ろにいた僕に気づき、「どちらのご出身ですか?」と英語で話しかけてくれました。そして僕がコンゴ出身だと分かると、今度は

流暢なフランス語で話を続けてくださった。僕が生まれたコンゴの首都ブラザヴィルにも行ったことがあると。国連の仕事をしていた頃からテレビで拝見憧れていた方とフランス語で話をするのができてとても嬉しく、今でも宝物のような思い出です。

**Q:駒ヶ根訓練所45周年のメッセージをお願いします。**

**A:**駒ヶ根市に住んで23年になりますが、駒ヶ根市民は国際交流や多文化共生に対する意識が高く、ここには市民が世界に目を向ける環境があると感じています。それは、JICAの訓練所があるから。僕の娘がここで生まれ、この環境で育っていくことを想像するととても楽しみです。駒ヶ根の皆さんはとても親切で、よく街を歩いていると声をかけられ、玉ねぎや人参をたくさんもらいました(笑)。これからも訓練所と駒ヶ根市が手を取り合って、多文化共生をすすめていってほしいと思います。



# 高坂 保 先生 外務大臣表彰 受賞 おめでとうございます!!



駒ヶ根協力隊を育てる会  
元名誉会長

高坂先生にインタビューしました。

Q:外務大臣表彰を受賞されて、いまの率直なお気持ちをお聞かせください。

A:自分には全く縁のないものだと思っていたので、正直ビックリしました。国際協力を推進したということで私が表彰の対象になりましたが、地域の皆さんが協力して行動を起こしてくれた結果だと感じています。地域の皆さんが私の発想や願いを理解し受け止めてくれなかったら実現できなかったことばかりなので、一緒に協力して実践して下さったことが非常に大きな力になったと思い感謝をしています。

Q:中学生のネパール派遣や市民交流会など、本当に様々な国際協力の種を蒔かれてきた先生ですが、その情熱はどこから生まれたものだったのでしょうか。

A:“訓練所は地域の宝だ”とよく言われますが、教員をしていた頃は何が宝なのか見えていなかった。ところが退職後、教育長として入所式や修了式に出席したり、カウンセラーとして訓練生に関わるようになって、これから開発途上国へ行って国づくりをしようという熱い想いを持った青年たちがたくさんいるということを知ったんです。そして、その青年たちは自分の目で開発途上国の現実を見て、何が課題なのか、どうやったら解決できるのかを考えて実践していく。非常に創造的な人間になっていく姿を目の当たりにし、そういった生き方の大切さを学びました。訓練生から学んだことを自分で実践してきたことが、今日に繋がっているのかもしれない。

Q:今後の展望をお聞かせください。

A:これからの展望なんかないよ(笑)。95歳になったけれども、種々なものに興味を持って、いくらかでもやってみることが若さを保つ秘訣なのかなと考えています。老後の目標は「希望に起き、感謝に眠る」こと。今日は何をしよう!という希望に起き、今日はおもしろかった、良かったなぁと感謝して眠る。現在はこれをモットーにして生きています。

▶インタビューにお邪魔した筆者でしたが、この後、人生相談になってしまったのは内緒の話です。高坂先生のような懐の大きい方が身近にいてくださることこそ、この地域の宝物なのだと思います。先生、いつまでもお元気でいてくださいね。



ヒロ先生



いしい ひろゆき

元スペイン語講師の石井裕之先生(1986年3次隊/ホンジュラス/農畜産物加工)。1994年~2023年まで、29年間に渡って駒ヶ根訓練所のスペイン語講師を務められ、現在はライフワークのアート活動を愉しんでいるそうです。個展を開催されるほど、絵がお上手だということで、広報紙のためにイラストを描いていただきました!



ジャジャーン!!  
広報の南澤です。  
とても似ているらしいです(笑)。



## 先生のご紹介



アザド先生 ご夫妻



ムンシ・アザド先生ご夫婦が訓練所にいらっしゃいました! アザド先生は、1979年の駒ヶ根訓練所開所当初からベンガル語の講師として、バングラデシュ派遣の訓練生の語学訓練を担当(奥様も途中から語学講師として勤務)されていました。今回は、東京から奥様と一緒に懐かしの訓練所を訪問され、他の語学講師の先生方と旧交を温めていらっしゃいました!

# オープンキャンパス2024 ~駒ヶ根訓練所をのぞいてみよう~



たくさんのご参加  
ありがとうございました!!



## 駒ヶ根ハーフマラソン

9月28日(土)に行われた訓練所のオープンキャンパス。今年は「元所長と巡る訓練所ツアー」や「JICA講師が教える語学体験授業」、「協力隊OG・OB体験談」や「訓練生との座談会」など盛りだくさんのプログラムを用意してお待ちしております!当日は総勢111名の皆さんにおいでいただいたこと、スタッフ一同感謝を申し上げます。たくさんのご来場ありがとうございました!!

隊員派遣国の民族衣装体験ができるコーナーでは、親子で記念写真を撮ったり、お友達同士でポーズを決めたり、楽しそうな笑顔が溢れていました。また、エスニックランチ体験では、キルギス料理を美味しく丁寧に頬張る皆さん、とても満足そうでした。

帰り際、スタッフに声をかけてくださった方々の感想をご紹介します。

「久しぶりに懐かしい景色が見れました!」 by 協力隊OG・OB

「普段はなかなか見ることのできない訓練所の中を見ることができて良かったです。」 by 市民の方

「訓練所を見学して、息子の協力隊応募を応援しようと思いました!」 by 市民の方

翌29日(日)の駒ヶ根ハーフマラソンでは、たくさんの協力隊OG・OBたちが派遣国ゼッケンをつけて駒ヶ根のまちを疾走しました。ゼッケンの受け取り場所になっていたJICAブースの周りには、全国から懐かしい顔ぶれが勢ぞろい!一番遠いところでは北海道から参加された方もいらっしゃいましたよ!もちろん、訓練生や市民の方々からいただいた応援メッセージの寄せ書きは、木村所長と井上課長が持参し沿道から熱い声援を送りました。皆さん、来年もお待ちしております。



## みなこいワールドフェスタ2024

~きく!あじわう!まとう!異文化~

今年もみなこいワールドフェスタが開催されます!10月18日(金)から始まる協力隊週間では、お酒と音楽で中南米横断の宵「世界のビールの日」イベントや、元JICA海外協力隊員によるオンライン講演会「日本の置き薬文化を活かしたビジネスinアフリカ」が開催されます。

最終日の27日(日)の「こまがね国際広場」では、JICA・JOCA・長野県OV会の連合ブースを出展!協力隊経験者による応募相談なども受け付けますので、お気軽にお声がけください。



詳しくはみなこいHPへ

### 毎月2回!SBCラジオに出演中!

長野県の協力隊OB・OG、出発前隊員、駒ヶ根訓練所スタッフがSBC信越放送に出演し、協力隊体験談や派遣国の思い出の一曲などを紹介しています。

第3月曜日 13:13 ~ 13:30

【ミックス プラス】内のコーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

第4土曜日 8:22 ~ 8:33

【武田徹のつれづれ散歩道】内のコーナー「地球色の窓をあげよう」

皆さま是非  
お聴きください!



SBCラジオHP

2024年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊: 165名 修了、2次隊: 183名 訓練中



JICA KOMAGANE Home page



facebook



発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336  
E-mail jicakjv@jica.go.jp